

「人権尊重社会を

めざす県民運動」事業

第14回

秩父郡市

人権フェスティバル

人権作文

「あいさつ」

皆野小学校5年

齋藤 美優さん

私が、家族で旅行をすると、よく外国人を見かけます。外国の人たちは日本人とすれちがったびに、「ハロー！」

と、笑顔で声をかけています。でも、私は、なぜか相手が日本語を話せる、話せないに関係なく、声をかけるどころか、あいさつもできません。いつも、言おうとすると、できなくなってしまうです。

ある日、外国の人に、「ハロー！」

とあいさつをされました。私も、英語のあいさつぐらいできるから、ハローと返そうと思っただけで、なかなか声が出てこないのです。そのまま通り過ぎてしまいました。その後、声をかけてくれた人たちのことが気になって、後ろを振り返ってみると、うつむいて、悲しそうでした。私の気

持ちもなんだか、暗く悲しくなっていました。悪いことをしてしまったと思えました。

そんなことがあってから、少したつて、また外国の人に、「ハロー！」

とあいさつをされました。私は、この前、外国の人にあいさつができなかったことをとても後悔していたので、今度こそ、あいさつを返そうと思いい、「ハロー！」

と、勇気を出して、言ってみました。声がふるえてとてもドキドキしました。ちゃんと笑顔で言えたか心配になりました。そうしたら、相手の人はとても、うれしそうに手をふってくれました。私は、外国の人にあいさつを返しただけで、こんなに喜ばれるとは思いませんでした。でも、あいさつを返した自分の心も前とは違って、とても明るく幸せになっていました。私は、勇気を出してあいさつを返して、本当によかったと思いました。

私は四月に五年生に進級し、英語学習が始まりました。いろいろな国のあいさつの仕方を知り、ジェスチャーをつけ

て友達どうして練習したり、自分の名刺を作り、名刺交換をしたり、相手の体調の聞き方など、いろいろなことを学習しています。

英語の名刺交換をした時には、クラスのみならず、さらに友情を深められたような気がしました。こんな風に、クラスだけでなく、様々な国の人たちと交流を深めて、友達になれたら、どんなにすてきだろうと思いました。これから、もっと英語の学習を生かし、様々な国の人たちと交流したいです。そして、お互いにもっとよく知り合い、私の世界を広げていきたいと思っています。

私に、このよつなことを考えさせてくれたあいさつは、人と人を仲よしにする、まほうの言葉だと思えます。私はこれからも、いろいろな人たちに進んであいさつをしていきたいと思えます。そして、いろいろな人たちと交流を深め、みんなのあいさつをきっかけに、一つにつながり、仲よく生活できたら、すてきだと思っています。

ステージプログラム

- 12:00 開場
- 13:00 開演
オープニングイベント
器楽・コーラス
(カーサ・ミナノ、コール四季)
- 13:40 人権作文(皆野小・長瀬中 各1人)
- 14:00 講演
「ダウン症の娘(こ)とともに生きて」
講師
金澤泰子先生(書家)
ダウン症の書家
金澤翔子さんのお母さん
多くの番組に出演!
- 16:00 終演



ホワイエでの催事

- ・人権標語展示
- ・手作りパンなどの販売(障害者支援施設「さやか」)
- ・野菜の販売(秩父農工科学高等学校)
- ・三陸海産物などの販売(東日本大震災復興支援)

期 日 10月9日(水)
場 所 皆野町文化会館
主 催 秩父郡市人権教育・啓発推進連絡会議
後 援 秩父郡市内市町村・教育委員会
入 場 料 無料
問 合 せ 総務課行政担当 ☎ 62-1231